

～ベルトの基礎知識編 Vol.4～

■ 自動車補機駆動用ベルトの不具合事例 ■

今回は、自動車用補機駆動用ベルトにおける代表的な不具合事例を下記にてご紹介します。
発生する事象に合わせて適切な対策を行なうことが重要です。

自動車補機駆動用ベルトの代表的な不具合（原因と対策）

現象	異音が発生する			ベルト縦裂きが発生する			ベルトに偏磨耗が発生する		
原因	ベルト張りの不足によりスリップが発生	急激な加減速時にスリップが発生	プーリのアライメントが大きく、片当り等が発生	リップ山の掛け間違いでプーリフランジに乗り上げ	ベルト張りが不足により、振動が発生し、プーリフランジに乗り上げ	プーリのアライメントが大きく、プーリフランジに乗り上げ	プーリのアライメントが大きく、片当り等が発生	プーリ面粗度が荒く、ゴム磨耗が発生	プーリに錆が付着しておりゴム磨耗が発生
原因図解	-	-							
対策	・ベルトが異常摩耗している場合は交換下さい ・適性な張りに調整下さい	急激な加減速を伴う運転を控えて下さい（「キュー」音に一定効果有り）	アライメントを調整下さい	装着後に確認下さい	適性な張りに調整下さい	アライメントを調整下さい	アライメントを調整下さい	プーリ交換を推奨致します	プーリ交換を推奨致します

ベルト異音(鳴き)の大半は、ベルトが適正張力で張られていない場合に発生します。
ベルトの張力を適正に管理する事で、初期不具合の予防やより長寿命でベルトをご使用いただけます。
⇒加速度センサーを使用した張力計『TENSION MASTER』を是非ともご活用下さい。